



| | |
|--------------|---|
| Title | 影印『手繰舟』 卷六 |
| Author(s) | |
| Citation | 語文. 1980, 37, p. 23-58 |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/68667 |
| rights | |
| Note | |

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

手
繰
舟
六



月海は静めては草
 花も春の心は人とは
 ちかづき春の心は人とは
 てなちをけしき六客がけ派
 鶴ととのそしてうんた
 ふきあ代となりし
 あらわて寛文六年
 十日秋の吹風す
 舟中乃い柳くや
 ちて櫻井浦戎乃
 新橋の出来より
 ちかづき春の心は

年暮月日はよき世なり
 うまいあけちもくもく
 何れといふ又も愁なる
 とき来にやいふ事なきに
 持てたきとかなくし
 つまみ代ふも瑞きなり
 清なる大船なりと入る
 八所れ今といふ集りて
 此ふものうへ石像も
 出来て又も板橋と云ふ
 と建て我情又悲なる
 新造れ人歌新と云て

道遠乃地とんるれ地乃
あこもあつあつと花
下れ潮りされまゝさる
船ととめくまゝは彩瑞
乃ほまあまて道真あは
あつあつをれろ南や
流目そ四國乃山あまに
なり後ハ伊勢乃宮葛城の
事やれまゝにひく南を
記ゆろまゝあまれろ良
よまゝにひくあまれろ
難波乃浦まゝに武庫の

奥なる山も雲乃中に
へいけおにまては境ちま
かまれ人まゝにまゝに
あつあつりて朝夕あま
まゝに人まゝにまゝに
は浦乃懸葉今まゝに
まゝにまゝにまゝに
まゝにの或ハ詩哥と作或
ハ連俳りまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝに
まゝにまゝにまゝに

くて今が集まるも
舟れはかくはねる
ともかくさし加る
よがたにさる

維時寛文十一年

辛亥之朱律

阿智顯成

舟巻第六

我信 桑句合

春

芦原れは乃るく見や我^信 云於
 はきぬるや信れ子家あ我^信 一守
 ふきも又浦乃初はあ我^信 家満
 りや信はるくはやぬあ我^信 友佐
 石やて出影と秤のあ我^信 吉次
 新は乃守護はるくやあ我^信 吾心
 家國よめていふ言やあ我^信 信長
 如きはるやまをいふやあ我^信 信重
 朝やうけの忠は乃るあ我^信 貞房

信原や紀は乃るあ我^信 平村
 新めて又新は乃るあ我^信 家貞
 新は乃るははるくもあ我^信 利貞
 新は乃るははるくもあ我^信 家貞
 新は乃るははるくもあ我^信 一志
 信は乃るははるくもあ我^信 吉清
 信は乃るははるくもあ我^信 久成
 信は乃るははるくもあ我^信 全休
 信は乃るははるくもあ我^信 信長
 信は乃るははるくもあ我^信 信重
 信は乃るははるくもあ我^信 信長
 信は乃るははるくもあ我^信 信重

是も乃思にけりよ若我思 承
 若我思や櫻かゝる西の文 同 宝
 我思やうわゝ思ひけり万葉 同 宝
 蓬萊にありていつか思ふ 大坂 林見
 思ひ乃我思や思ふ思 同 顯成
 思ひ乃我思や思ふ思 同 宗満
 新まに思ふや十月我思 同 光色
 かり思や思ひ思 同 好重
 思ひ思や思ひ思 同 可彦
 又思ふ思ひ思 同 心翁
 思ひ我思や思ひ思 同 心室
 思ひ思や思ひ思 同 貞伸

船幕と云ふ思ふや我思 同 海
 おもひ思ふ思ふ思 同 菊
 我思や思ひ思 同 如
 思ひ思や思ひ思 同 方寸
 思ひ思や思ひ思 同 光色
 思ひ思や思ひ思 同 長正
 思ひ思や思ひ思 同 利貞
 思ひ思や思ひ思 同 武家
 我思や思ひ思 同 加子
 我思や思ひ思 同 宗俊
 我思や思ひ思 同 聖初
 我思や思ひ思 同 聖賢

極朝乃始ゆし我信同 信
信乃亦もや持し我信同 一六
其の海を風は吹きて我同 信

夏

わさかたうへを信信信信同 信
我信やまに中郭云同 信
我信や泉乃万葉神奈同 云
わ月雨吹かた信信同 信
信乃信も甲かま信信同 信
我信やむもつと信人太同 利
玉乃信か信信信我信同 信

そそ信信信我信信同 信
そそ信信信信信信同 信
水信信信信信信信同 信
信信信信信信信信同 信
信信信信信信信信同 信
信信信信信信信信同 信
信信信信信信信信同 信
信信信信信信信信同 信
信信信信信信信信同 信
信信信信信信信信同 信

秋

西乃信信信信信信同 一六

[illegible]

是や春人甲子り名を印
形多し月や夕我へ後
出来は乃月又六共とむに
此頃れ名もほきし月来
厚く今に南より一我信
厚くあかき春の動ふ寝
初けかけなむこれ我書
長治やさん初くとるん
阿け井恒家と海や我信
春秋もほ地よりうゑ密受

天由
宇和
櫻
日
豊
豊
櫻
大夜
一六
大夜
豊
大夜
豊
日
宇和
宇和

冬

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

我乃我乃我乃大反改也

冬に疾ふ声や二層に巻乃保頭成

あはれはとも且六ふれど
し且き人のおいじり
世をいもつゝなう
あはれはとも

32

作者

左

孤塚風窓
淺見川紫菊
二河風芦
花園雪野
菊田紫園

右

松置風鈴軒
鳴川紫簾
仁綱風鷗
中寺風蕉
小川柳橋

百番俳諧發句合

一番 元目

左 勝

孤塚風窓

はらわぬ岩井乃の松がさう松

右

松置風鈴軒

やー棚やうても松はさう方

言はれやうてはさうて鶴松

二番 初芝右

左 播

浅見川紫菊

よせ太鼓生さるものや初芝お

右

鳴川紫簾

荒き力もさうはさう初芝右

初芝おれもころやを左殿

三番 水掛祝

左 持 二沼風芦

終しや沖中河乃水とい

右 江頭風鶴

とし煙乃祓儀もくや水はをせ

なほや生りくる成水候ひ

四番 若菜

左 花園香駢

揃もや先はうりくるくひふ

右 中寺風蕉

揃もやをむすはふといふな

右乃も先んてはやを若菜

五番 吉野解配

左 持 菊田志剛

うれいさくせぬき解ふけり

右 小川柳橋

まきふむすはころや解ふり

とろくやいふもようは解配

六番 薪能

左 持 狐塚風窓

祓も能や薪ふむとわ乃内

右 松風吟歌

養育や袖もりくるく祓も能

もしもやたなひのう新法

七数 橘葉巻

七勝 海見の窓菊

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

右 唱の窓菊

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

心ひくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

八番 春駒

右 二派風芦

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

右 細風菊

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

九数 海苔

右 花園吉野

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

右 中ち風蓮

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

右 防風

十番 防風

右 菊田窓菊

まゝいのりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

右 小川柳橘

りやゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

白侯はくくハチヤハ防風散

十一番 種荷

九 瓶恨風意

甲の玉やチヤ成散と種ありし

六 勝 松風散新

官博也や都乃成散より新

支那散は新より新なり

十二番 麻荷

七 瓶恨風意

一もやまやまの成散より麻

五 勝 留風散新

もくやまやまの成散より麻

荷人乃者そなりしと種麻

十三番 枸杞

九 二派風草

そよやまの二葉やそよ

六 勝 紅綱風散

摘入る風散やそよ

二葉よりそよ

十四番 田草

七 瓶恨風意

刈得は散はそよ

六 勝 中風散

あひらやち田草

誰と皆さしちと吹田島草

十五番 柳籠

右 柳 菊田盛岡

物も波もてむけし柳と

右 小川柳橘

釣竿やふりしる柳と

合すれは所ありはし柳籠

十六番 鳥巢

右 狐塚風堂

多れ玉子あは連親さ葉指

右 勝 松尾風形

風ももぬきしふもけし標

よのつる尾はふもたふけし

十七番 砂塚金佛

さ 鎌倉海堂菊

鐘乃意ありしとふはる金

右 勝 唱何来蕭

わはもすしむとかなふはる

忘れしちるにふしと砂塚金

十八番 土生金佛

右 勝 二河風草

六乃福とふれきてしふはる

右 如洞風踏

嘆むれかりもふとせふ不念

六乃陽やとれきく作さふ念仏

十九番 花

花 勝

花園書野

ちりききいひいふふれ紙

右

中も風道

月と花の所あるぬん物とれ

かきこつてふふしむれ時紙

サ番 梅

花

菊田定則

写さるもいふふ係し板まじ

右 勝

小川柳橋

是う越都の奥へ江戸橋

一句ふりり花もさふ江戸橋

サ番 梅棚

花

瓶塚風定

かて事やむなふ重もさふ棚

右 勝

松島風定

梅あふお前の棚やうーきふ

お前う夫下一板乃さふ棚

サ二番 鳥賊賊

花 梅

後か風定

下かう夫はさふやいのけり

右

鳴は風定

係馬や雲ふいふけくいれり

をれねあ天二天よりれり

カキ散 梨花

花 勝 二江風芦

月けや雲をりしてふれ花

右 江細風路

四ていりりりりりりりりりり

金言や雲よりりりりりりりり

カ西散 藤花

花 花 花 花 花 花 花 花 花 花

秋夜や枝なりりりりりりりり

右 勝 中る風蕉

えひりりりりりりりりりりり

えひりりりりりりりりりりり

カ西散 柳花

花 花 花 花 花 花 花 花 花 花

水はりりりりりりりりりりり

右 小川柳花

もりりりりりりりりりりりり

煙りりりりりりりりりりりり

カ六散 花

花 花 花 花 花 花 花 花 花 花

夏夜や枝なりりりりりりりり

右 松風花

わりりりりりりりりりりりり

とまへ下りけりさきさき

カ七番 万葉

た 勝 ばはばさる

すくふれはたふもや將軍を

た 唱 何はさる

むいけけりや菩薩のあらむ

誰さひ下りたれぬ將軍花

カ八番 郭云

た 持 二江風芦

里より出香とにまけ郭云

右 江網風鷗

村面やなんあひけりやま

あひけりやあひけり郭云

カ九番 諫鼓鳥

た 勝 江園書詠

はるまきさうふおまけりさ鳥

た 中寺風蕉

さひりやいふはなもあやうさ

まけはつてく人点句人

カ十番 蚊食鳥

た 持 菊田定則

ひらけりやももあやうさひより

右 小川柳橘

端よりやなりて蚊食鳥

常とみしれやち吸喰ち

可一番 蛭

左 脇 瓶 振 風 窓

吸つて是くすすく田蛭れ

右 松 風 鈴 鈴

無残すハ蛇も井よりけさしハ

吸勝てさうぬびひるこが

可二番 沖 腫

左 脇 浅 風 川 草 菊

何と魚うとまはさうし仲が飲

右 鳴 風 紫 蕭

不料理やしもまはの沖腫

句作のやいさもひるに沖腫

可三番 日光 糸

左 脇 二 風 戸 戸

咽らけふ世や目えんく神鈴

右 細 風 鈴

上もなり目えんく神鈴

左 脇 糸 と 合 せて 目 光 糸

可四番 松 糸 糸

左 脇 花 園 草 野

松糸やまゐるころけ風さるは

右 中 風 草

けやまふ世松糸へ夏目より

ねまふやうなうらふと美う鴻

可七番 端午

た 葡萄園実割

八棟やうなうらふと美う鴻

た 小江戸橋

竜の絵も描すくちし金持

八棟のうらふと美う紙のうら

可六番 早苗

た 狐塚田舎

うら田舎稲葉のうらふと美う

た 松島風情

早苗のうらふと美う紙のうら

うら田舎稲葉のうらふと美う

可七番 黄角

た 実るは実る

火とくちし金持

右 写し金持

いふふふふふふふふふふ

うら田舎稲葉のうらふと美う

可八番 花袖

た 二風風

酒のうら田舎稲葉のうらふと美う

た 江洲風情

いふふふふふふふふふふ

心袖しきふくふく小幡酒

可九番 紫羅双樹

方 持 花園若驛

はるむらさきふくふく紫羅双樹

太 中も風直

むね茶ふすの代衣の紫羅双樹

まふふくふくふく紫羅双樹

甲子番 風車也

方 勝 菊田若園

むね橋や羽園麻ふくふく風車

太 小川柳橋

風車や吹ふくふく風車

羽ふくふく羽ふくふく風車

甲子番 下町記

太 勝 狐塚風車

むね茶ふすの代衣の紫羅双樹

太 松島風車

下町記むね茶ふすの代衣の紫羅双樹

下町記むね茶ふすの代衣の紫羅双樹

甲子番 百合車

方 お 浅見風車

むね橋や羽園麻ふくふく風車

太 鳴川風車

風車や吹ふくふく風車

ひさしにやまもさしきも車ゆり

甲三番 風

左 勝 二江風

ひやしてやまもさしきも車ゆり

右 江細風

むすしき風もさしきも車ゆり

味はくさくさきも車ゆり

甲四番 白玉

左 花園風

むすしき風もさしきも車ゆり

右 中風

衣裳もさしきも車ゆり

あまのこ風もさしきも車ゆり

甲五番 草風

左 勝 菊田風

くさくさ風もさしきも車ゆり

右 小川柳風

くさくさ風もさしきも車ゆり

草風もさしきも車ゆり

甲六番 草風

左 狐橋風

くさくさ風もさしきも車ゆり

右 松風

衣裳もさしきも車ゆり

あひや同り一人前きよ

早七数 湯衣行

た お 浅見行葉菊

あけくはくしん旅離る湯衣行

た 唱 何葉菊

心ひりすまうしふる湯衣行

あきあけくはくしん心湯衣行

早八数 難海原

た 勝 二江風声

あけくはくしん湯衣行

た 細風鳴

白雲やあけくはくしん

あけくはくしん撰てあ

早九数 汗

た お 花園中野

あけくはくしん汗あけくはくしん

た 中野風道

川舟やあけくはくしん汗あけくはくしん

汗あけくはくしんあけくはくしん

早十数 納涼

た 菊田定則

あけくはくしんあけくはくしん

た 小川柳橋

水涼し月とあけくはくしん

あふみ水よりさきや五葉花

五十二番 七才

た お 秋楓風定

花枝根も雪よりあけり三星

た 松風終り

鶴の橋けしきや星の中

はらうも鶴の橋やけり白

五十三番 玉糸

た 冊 沙乃の葉菊

誰より白く浅くしきも白

た 鳴海の葉菊

風尾草や雪も白く玉糸

けしきも白く玉糸

五十三番 花火

た お 二派風草

ちねい袖の中なるも火

た 江細風草

角の中へ雪もきくも火

そくも火の心なる火

五十四番 ね枝

た 冊 花園草

ほくも火の心なる火

た 中風草

雪も火の心なる火

かゝるもやたらに勝つ

五十六番 松葉菜

た 南田生剛

まはりてや六根の飛と六地を

右 勝 小川柳橋

糸客もとらるや雲れ地を

心もさる雲れ地を

五十六番 参入

き 瓶塚風定

参入やもりのうらにほ螺貝

右 勝 松尾風利

かけやいと越えぬ参入を

参入はいとむらむけを

五十七番 名月

た 持 横見川生菊

う板やのほりてれはるる月

右 名 町河生菊

名あふやまのうら次枝乃月

同夜や天のそらわりの月

六十八番 蜻蛉

た お 二瓶風草

おのりもさるやほろのいんが

右 名 白網風鶴

おのりもさるやほろのいんが

中や海にほけしものもあえ

五十九番 鰯

た 鰯 志田吉房

めしき魚にちよやうはら

た 中寺風蓮

花薄かふとあや川に魚

川勝て魚もちよやうはら

六十番 鰯

た 鰯 菊田豊剛

京乃人やほへるものなけ魚

た 小川柳橋

切目しきもあはれなけ魚

京れん乃向うしき魚の魚

六十番 鰯

た 鰯 松原風蓮

川にけやうはれもあはれ

た 松原風蓮

かしきもあやうしき魚

水乃たより色もあはれ

六十二番 鰯

た 鰯 津田吉房

山にけやうはれもあはれ

た 津田吉房

かきあやうはれもあはれ

男麻也ふふて二管笛

六十三番 風仙花

た 勝 二管笛

鳥もすえふのもうし風仙花

右 仁綱風笛

尺やうんあふく風仙花

ゆせんあふく風仙花

六十六番 薬壺

た ね 花園書

あふくあふくあふく木根

右 中風笛

ほるはあふくあふく木根

えれれれや味りすまや

六十五番 薬壺

た 南田書

あふくあふくあふく木根

右 小川柳橋

あふくあふくあふく木根

あふくあふくあふく木根

六十六番 薬壺

た ね 花園書

あふくあふくあふく木根

右 松尾風笛

あふくあふくあふく木根

いもろふたつちのちしんくわん

六十七番 蒲葎

さ ほうふの葉葎

さくしんもさくしんやさくしん

右 勝 鳴川葉葎

ちんくわんくわんくわんくわん

わんくわんくわんくわん

六十八番 野合

右 二匹風葎

奥の奥もくわんくわんくわん

右 勝 細風葎

堀あきあきくわんくわん

きんくわんくわんくわん

六十九番 葎

右 勝 花田葉葎

きんくわんくわんくわん

右 中風葎

針葎やいもくわんくわん

きんくわんくわんくわん

七十番 板橋

右 勝 菊田葉葎

きんくわんくわんくわん

右 小川柳橋

酢あきあきくわんくわん

七十一番 極寶

九 勝
狐 慄 風 雲

心々々都々々聖々

右
松雲風竹

を、其の生かすに

よむにむいひてふ

七十二番
梅煉

た
か
はるはる

類ははのむと根のや柄のと

否 何樂爾

いまは今日迄の柄のよ

柳里人(柳里人)

七十二番
杖案

方物
二石凡

東のひまわりと人恋ふは

右
仁綱内略

なまぐてみしや川中流り客

荒々上六白川。定案。

車震
紅素

九
花園雪驛

杉本やちういんかゝり

右
膳
中寺風蓮

夏子や紅井此うみ橘乃角

橘のこころはさきよりたれぞ

七十六番 暮秋

た 橘 南雨定則

り秋乃のすれをえきききき

た 小川柳橘

きききききききききききき

ねけきききききききききき

七十六番 冬更衣

た 橘 瓶塚風意

綿入やききききききききき

た 松雲月夜歌

雲のきききききききききき

かきききききききききき

七十七番 小暮

た 橘 淡月川定則

かきききききききききき

た 唱阿茶葉蕭

目つみききききききききき

きききききききききききき

七十八番 神楽寺

た 橘 二江風意

かきききききききききき

た 江網風意

物きききききききききき

ひかりかきもやけろおるる

七十九番 亥子

右 勝 春園書評

ちきりふれゝんふとふおる餅

右 中風道

君ふやほをもたしおの子餅

けふもふふちきりやふり家餅

八十番 十軒はま

た お 菊田定園

いりもやも月かち十軒小

右 小川柳橋

中夜やゆねも月さすき金餅

は院そのきふおれし十軒

八十番 日蓮忌

た 勝 孤振風忌

傳ふておるひりやう日蓮忌

右 松島辰次郎

題圓はまもはりやふり餅

片意ははりやいりや日蓮忌

八十二番 寒車

た 勝 保久はま車

大はまは追うしやう懸蘇草

右 山崎忠甫

冬枯ていどらふかふり寒

被うまていしほ馬を道付るん

八十三番 大根

左 二沼風芦

川柳やふり出て五太根

右 勝 江細風路

空乃もやれ根さや川太根

志とあふ道とみぢい大根

八十四番 紙子

左 勝 石園書評

けろの力りんかまろハふよハ

右 中寺内蕉

風をよき面といふかみり

世を言わぬ人限をふよハ

八十八番 食

左 菊田窓園

秋波さふ縁見てまも紙すま

右 勝 小川林福

浪津やまうらふ事次は食

あまふれまうらふ小食紙すま

八十六番 炭

左 勝 狐塚風忌

校炭乃むるやむれびうら

右 松島風新

なれたる炭とあふる炭り

二炭乃あまふうじんめし

八十七番 火焼

た 漆分合漆

わしをたもふせしあふたふ

右 漆 唱ほふ漆

障子紙やまや障子玉火焼

多入くたし心やあふた

八十八番 水鳥

た 漆 二信風芦

水もやあふたあふたあふた

右 二信風芦

あふたあふたあふたあふた

水もあふたあふたあふた

八十九番 氷

た 花田宮駢

水もあふたあふたあふた

右 漆 中寺風進

いふやあふたあふたあふた

硯水もあふたあふたあふた

九十番 敷

た 漆 菊田宮駢

水もあふたあふたあふた

右 小川柳橋

敷もあふたあふたあふた

茶の湯のうへまをうも茶

九十三番 雲

た 概 概 概 概

おのろくもろくもろくもろくも

た 松 松 松 松

おのろくもろくもろくもろくも

おのろくもろくもろくもろくも

九十三番 短歌集

た 松 松 松 松

朝すくもろくもろくもろくも

た 松 松 松 松

おのろくもろくもろくもろくも

茶の湯のうへまをうも茶

九十三番 鶴

た 概 概 概 概

おのろくもろくもろくもろくも

た 松 松 松 松

おのろくもろくもろくもろくも

おのろくもろくもろくもろくも

九十三番 初録

た 松 松 松 松

初録つても魚鱗ももももも

た 松 松 松 松

おのろくもろくもろくもろくも

けいしよもふふり初うら

九千八百 寒化酒

左 勝 菊田盛剛

白酒やまふふりてきはう

右 小川柳精

酒やまふふりてきはう

酒やまふふりてきはう

九千八百 神楽

左 痴情風意

酒やまふふりてきはう

右 勝 松田風意

玉板や松葉ふりて神楽

あふふもふふりてきはう

九千八百 衣配

左 勝 浅見川盛菊

折あふふもふふりてきはう

右 酒はふふり

酒やまふふりてきはう

酒やまふふりてきはう

九千八百 煤掛

左 勝 二風月

酒やまふふりてきはう

右 二風月

玉板や松葉ふりて神楽

たふしめくもはなはたしうひ

九番 亥分

九 花園富野

たふしめくもはなはたしうひ

九 中も同前

たふしめくもはなはたしうひ

かきまふふふふふふふふ

百番 宋書

たふ 菊田宗則

大津島や一はなはたしうひ

右 小川柳橋

たふしめくもはなはたしうひ

りかふふふふふふふふ